

# 関山街道フォーラム協議会

リレー巻頭言

## 行くぜ、仙山線

「火の道」「水の道」「土の道」「鉄の道」に遊ぶ



東北大学大学院工学研究科  
准教授 後藤 光亀

関山街道フォーラム協議会 顧問

「火の道」である火山活動により東北の脊梁山脈地形が生まれ、「水の道」が山々を削り溪谷を形成させ、この険しい自然を越えて関山街道や二口街道という「土の道」をつなぎ、これらの道を跨いで仙山線という「鉄の道」ができた。

2012 年から、仙山線の鉄道施設群を「土木学会選奨土木遺産」とし、仙台と山形の地元有志が活動を開始した。「土の道」街道と「鉄の道」仙山線の交差点は「踏切」である。踏切の名称にはその土地の自然や歴史・風土・文化が反映され、その由来探究は地元学の始まりでもあり、地域づくりの一環でもある。2013 年度に1年かけて仙山線の47か所すべての踏切を調査し「仙山線踏切ものがたり」がまとまった。個人的には「赤生木(あこうぎ)踏切」がお気に入りである。「赤生木」は柿が紅葉に映えて美しい様で、古来、この地域は柿の名産地であったという。昔ののどかな情景が浮かんでくる。

さらに、仙山線や東北本線、奥羽本線などの南東北ローカル三線沿線に展開する土木遺産をおつまみに、山・川・海の自然、その風土に醸し出された歴史・文化を、美味しく、楽しく、ゆっくり・じっくり過ごす癒しの時空間を、住民、企業、行政そして JR 東日本などと共に創生したいものである。

また、交流電化発祥の地としての仙山線では、利府町に保存されている交流電気機関車の利活用が強く望まれる。選奨土木遺産の認定を機に、具体的な動きが起こることに期待したい。

みんな presents まち・むすび助成事業

## ◇関山街道フォーラム協議会とは◇

関山街道フォーラム協議会は、関山街道沿線で活動している市民活動団体・企業・行政等が、地域の自然、歴史、文化、風土等の豊かな自然を掘り起こし、活用しながら地域活性化を目指している団体です。

平成 23 年 12 月に「関山街道フォーラム実行委員会」が発足、平成 24 年 5 月に「関山街道フォーラム」を開催しました。その後「土の道部会」を立ち上げマップ作成や探訪会等の事業、また関山街道と並行して走る仙山線に焦点をあてた事業開催のため「鉄の道部会」を立ち上げ取り組んでいます。

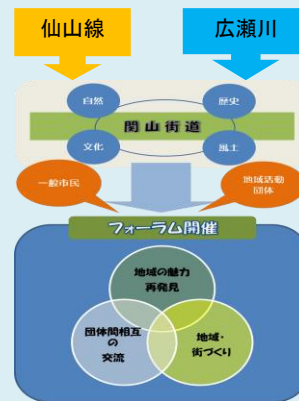
平成 24 年 12 月 8 日に「関山街道フォーラム協議会」として名称を改め、地域の魅力を発信していくことを目標に活動をしています。

### ■参加団体■

作並温泉旅館組合  
みやぎ建設総合センター  
八幡地区まちづくり協議会  
広瀬川市市民会議  
仙台西国 VSP 連絡協議会  
定義観光協会  
ニッカウキスキー

(株)仙台工場  
大倉ふるさとセンター  
宮城地区郷土史探訪会  
愛子の郷交流会  
ひろせの底力  
みやぎ西探訪会  
里山を歩く会  
仙台・作並回文の里づくり  
実行委員会

土木学会東北支部  
みやぎ街道交流会  
みちのく鉄道応援団  
仙台市宮城総合支所  
仙台市広瀬市民センター



### \*オブザーバー\*

- ・宮城県震災復興・企画部  
震災復興政策課
- ・仙台河川国道事務所  
仙台西国道維持出張所
- ・山形県村山総合支庁  
総務企画部 地域振興課
- ・仙台市河川課広瀬川創生室

### よろしければ、スタッフとして一緒に活動してみませんか！

- 団体会費 5,000 円 ●個人会費 2,000 円 ●賛助会員一口 1,000 円

### 発行：関山街道フォーラム協議会

■事務局 仙台市広瀬市民センター内

お問い合わせは・・・仙台市広瀬市民センターまで

TEL: 022-392-8405 FAX: 022-392-8410

HP: <http://sekiyamaforum.web.fc2.com/>

facebook もぜひご覧ください！

## イベントのお知らせ

平成27年度 関山街道フォーラム講演会

### 第1部 講演会

## 地名から知る ふるさとの歴史

5/23(土)

13:30~14:40

会場: 広瀬市民センター

地名が伝える地域の歴史。震災の爪痕も地名から伺うことができます。宮城地区にも興味深い地名がたくさんあります。今、その謎解きに迫ります！

講 師: 宮城県地名研究会会長 太宰 幸子氏

### 第2部 活動事例発表

14:50~16:00

#### ●ニッカウキスキー(株)仙台工場

今年話題となった「マッサン」のよまやま話をお聞きながら、新川にある仙台工場の取り組みについて話していただきます。

#### ●「四ツ谷の水を町並みに！」市民の会

藩政時代、仙台の城下町を潤した四ツ谷用水。今は増悪化されていますが復元、保存に向けた活動を行っています。

コメンテーター: 宮城学院女子大学学長 平川 新氏

### 総会

(会員のみ)

16:30~17:30

### 交流会

(参加費: 3,500 円)

18:00~20:00

■日時: 平成 27 年 5 月 23 日 (土) 13:30~16:00

■会場: 広瀬市民センター セミナー室

■定員: 第1部、第2部 80名程度(先着順)

【お申込みについて】5月6日(火)~5月15日(木)まで、  
往復はがきで「関山街道フォーラム協議会事務局」へ  
お申込みください。

※記入事項・講演会、交流会の参加希望

・住所 ・氏名 ・性別

・電話番号

●申し込み・お問い合わせ先● 関山街道フォーラム協議会 事務局(広瀬市民センター内)

〒989-3125 仙台市青葉区下愛子字観音堂5

電話: 022-392-8405 Fax: 022-392-8410

いただいた個人情報は講座運営のみに使用いたします。このチラシはリサイクルできます。 【みんな presents まち・むすび助成事業】

## 4/29 開催 今年の関山隧道&嶺渡り GALLERY



113 名の中から抽選で 25 名が参加への切符を手に入れました。

# とうほく街道会議第 10 回交流会

# 関山街道フォーラム

大盛況裡に  
終了しました！

## 「土の道」と「鉄の道」から

## 宮城・山形の明日を考える

実施日 平成 26 年 11 月 14 日（金）～15 日（土）

場所 作並温泉鷹泉閣 岩松旅館

### 1日目 交流会第 1 部「フォーラム」

#### 基調講演

「歴史に見る街道と地域～関山街道と奥州街道～」と題して、当協議会会長 平川 新氏（宮城学院大学学長）が「街道が持つ意義について関山街道や奥州街道などを事例に新しい視点」から講演をされました。



### 土の道分科会－パネルディスカッション－



テーマ：関山隧道の果たした役割と今後の仙山交流について

コーディネーター：宮原育子氏（宮城大学教授）

パネリスト：  
小形利彦氏（歴史家・日本大学講師）  
阿部公一氏（株）ネクスコエンジニアリング東北常務取締役 万世大路研究会代表）  
山田浩久氏（山形大学大学院教授）



### 鉄の道分科会－パネルディスカッション－



テーマ 仙山線の鉄道遺産とその利活用について  
コーディネーター：星山幸男氏（東北福祉大学総合福祉学部教授・鉄道交流ステーション運営委員長）

パネリスト：  
加藤栄一氏（当協議会 鉄の道部会長）  
山下英一氏（東北芸術工科大学デザイン工学部教授）  
米山淳一氏（地域遺産プロデューサー）  
＊特別講師 小野田 滋氏  
（公財）鉄道総合技術研究所 情報管理担当部長



### 交流会第 2 部「街道談義」「パネル展」



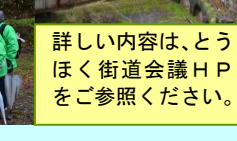
参加状況：1 日目（交流会第 1 部・第 2 部）221 名、2 日目（探訪会）65 名、延べ 286 名の参加があった。地域別には県内 169 名、県外 63 名。パネル展出展は 13 団体。

### 2日目 「土の道」探訪会：定義如来への落人伝説コース

### 「鉄の道」探訪会：仙山線の鉄道遺産コース

ほととぎす塚～熊ヶ根城跡～仙台市水道記念館～捻木道・大手門～小倉神社～大倉ダム～赤門～大倉ふるさとセンター～古碑群（滝ノ上旧バス道交差点）～定義如来西方寺

作並湯の駅ラサント・パネル展「新幹線は仙山線から始まった」見学～作並交流電化発祥記念碑・転車台（遠望）～山寺駅転車台～山寺ホテル～立石寺根本中堂



詳しい内容は、とうほく街道会議HPをご参照ください。

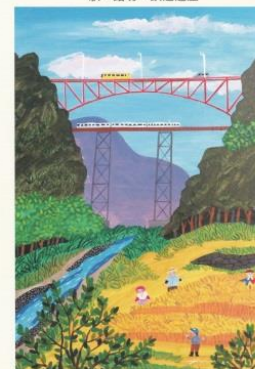
### 土木学会「選奨土木遺産」認定されました！

昨年 3 月に申請をしておりました「仙山線鉄道施設群」が平成 26 年 9 月に土木学会「選奨土木遺産」に認定されました。認定書授与式が「とうほく街道会議第 10 回交流会 関山街道フォーラム」開会に先立って行われ、JR 東日本仙台支社とともに、当協議会「鉄の道部会」も受章者となりました。認定報告は当協議会顧問・後藤光竜氏。



### 冊子『仙山線の魅力再発見』刊行！鉄の道部会

#### この土地と人の息吹き 仙山線の魅力再発見 駅・踏切・鉄道遺産



ただ今好評発売中。仙台市広瀬市民センターまでお問い合わせください。

3 月 28 日。「仙山線を迎える会」講座（広瀬市民センター講座 関山街道フォーラム協議会共催）の成果が一冊の本となった。その名も「仙山線の魅力再発見～駅・踏切・鉄道遺産 この土地のひとと息吹き～」。仙山線の全踏切を地名とともに調査。土地の歴史、人の暮らしがそこにはあった。

講座のメンバーが全線を分割して手書きの絵図で紹介しているのも魅力。土木遺産になった鉄道施設群についても詳しく紹介されている。

